

ゆうき市議会だより

第190号

平成29年2月1日



第4回定例会 12月7日～12月20日

平成28年度結城市議会第4回定例会は、12月7日に招集され、20日までの14日間にわたって開かれました。

初日には、平成28年度結城市一般会計補正予算（第3号）など市長提出案件18件、請願2件が上程されました。上程された案件については、各常任委員会に審査が付託されました。

会期中には、代表質問（毎年第4回定例会にて実施）をはじめ、一般質問の2日間、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会ごとにそれぞれ1日ずつ審査が行われました。

最終日には、各委員会へ付託されていた案件の審査報告と追加案件で市長提出案件1件、議員提出案件1件が上程され、審議が行われました。

《諮問 関係》

◆人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

野の
原 達 男 氏

長 澤 章 氏

船 橋 みね子 氏

《請 願 に つ い て》

第4回定例会で審査された請願の結果は、次のとおりです。

継続審査となったもの

○「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願

○「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願

《意見書について》

○地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書（P12参照）



第4回定例会における議案の審議結果一覧

議案番号	議案名	結果
議案第63号	平成28年度結城市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第64号	平成28年度結城市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第65号	平成28年度結城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第66号	平成28年度結城市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第67号	平成28年度下館・結城都市計画事業結城南第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第68号	平成28年度下館・結城都市計画事業結城南第三土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第69号	平成28年度結城市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第70号	平成28年度結城市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第71号	平成28年度結城市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第72号	結城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第73号	結城市南部中央コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第74号	結城市税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第75号	結城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第76号	字の区域の変更について	可決
議案第77号	公の施設に係る指定管理者の指定について	可決
議案第78号	平成28年度結城市一般会計補正予算（第4号）	可決

結新会

大橋 康 則 議員（質問者）

平 塚 明 議員

孝 井 恒 一 議員

巡回バスの利便性向上と新交通構築を！

高齢者の移動手段として巡回バスを核に利用者ニーズ、地理的条件、地域の実情に即し効率的で効果的な運行による持続可能な構築をし、総合的な今後の新しい交通網を構築して頂きたい



市長 公共交通のあり方や方向性も検討はしておりますが、今後とも、現在運行している巡回バスの充実、利便性を高めていくことが、市民の皆様にとって有益であり、重要であると考えております。

アクロス通りを本市のシンボルロードに！

新庁舎がアクロス駐車場に建設するとすればアクロスの交差点を中心に東西南北のアクロス通り、駅南中央通りは本市の中心的な場所になる可能性があり、まさしく結城市のシンボルロードの位置付けになるだろうと考えます。街路樹や道路上のモニュメントや照明設備等にデザインテーマを設け、電線地中化を行い、顔としての整備をお願いしたい



▲現在のアクロス通りの景観

都市建設部長 アクロス通りや駅南中央通り周辺は、市庁舎移転に伴いこれまで以上に市の中心としての役割を担うこととなることから、災害対策や高齢者の通行の安全性・利便性への配慮等、景観の向上を図って



まいりたいと考えております。景観形成ガイドラインからさらに一歩進んだ「結城市景観計画」を現在策定中でありますので、「更なる景観づくり」を市民の皆様と共に進めていきたいと考えております。

市長 アクロス通り周辺のシビックセンターにつきましては、文化施設としてのアクロス、市民の憩いの場となるけやき公園、それから行政機関である市庁舎が移転することにより、まさに市の中心、市の顔となる場所でございます。そのような場所にふさわしい景観の形成を考慮しつつ、同時に防災拠点としての役割を担えるような整備の計画を検討してまいりたいと考えております。

トイレ改修・空調整備・ICT化の環境整備を！

学校施設のトイレの環境改善、空調設備の設置整備、ICT整備については現代の子どもたちが日々学び、生活する場所を守るためにも、この問題は放置できません。早急な環境改善をお願いしたい



▲トイレの洋式化を

教育部長 平成28年9月末をもって、全ての学校の耐震化が完了いたしました。老朽化した施設を長寿命化するための学校施設大規模改修事業、夏期の学習環境整備として空調設備の整備、また、ICT整備事業として機器の配備を主要事業として計画をしているところでございます。

市長 トイレ改修、空調機器の整備、ICT環境整備などの、学校施設の環境整備を行い、子供たちの学習を支援することは、大変重要であると認識しております。これらの事業については、多くの費用と期間を要しますので、計画性を持って、着実に一歩一歩進めてまいりたいと思います。

民 政 会

大 木 作 次 議員（質問者）

中 田 松 雄 議員

金 子 健 二 議員

大 里 克 友 議員

代 表 質 問

新市庁舎の建設について

建設費用が約49億円かかり、基金の積み立ても十分ではない。財政状況を考えると、できるだけ建設費を抑え市民の将来負担を軽減しなければならない。また、シンプルで使い易く、市の顔さらに防災拠点としてふさわしい庁舎にしていかなければならない。そこで規模、配置、構造、駐車場、そして今後の進め方について伺いたい

理事兼政策監 推進本部で検討したのは、建物の位置について、シビックセンター用地の南側・東寄りに配置すること、構造を5階建ての免震構造とすること、駐車場について、立体駐車場は建設せず、平面駐車場と隣接の市有地を活用することなどでございます。配置・駐車場については、アクロス利用者が不便にならないよう考慮した結果でございます。なお、財政面については、基本計画で示している概算事業費及び財源を基本といたします。建物の形状をシンプルにすること、標準的建築部材を使用すること、できるだけコストを抑えるよう設計を進め、平成29年3月には、建物の配置や間取り、構造や設備、工事費の概算等を示した基本設計を完了させたいと考えております。

小山市（友好都市）との連携事業について

小山市と友好都市の盟約を締結して以来、様々な分野で交流連携事業が行われている。そこで、これまでの取り組み状況と今後の進め方について伺いたい。また、本市、小山市、下野市、野木町の3市1町で定住自立圏が形成された。そこで、下野市や野木町との連携についても取り組み状況と今後の進め方を伺いたい

市長公室長 平成27年度は、両市の文化センターの相互利用を開始し両市民が同じ条件で施設を利用できるようにしました。また、鹿窪運動公園、紬の里結城パークゴルフ場、川木谷野球場と、小山運動公園、あけぼの公園、原ノ内公園、思川緑地を市民料金で利用できるようにいたしました。次に、消防の連携強化として、小山市総合防災訓練で合同訓練を実施したほか、



本市の総合防災訓練に小山市消防団が参加した。さらに、平成27年9月の関東・東北豪雨災害では、小山市の被災地域において、本市が給水応援活動を行った。田んぼアート事業では、小山市梁の農産物直売所「絹ふれあいの郷」付近で開催された田植え体験や見学会に、本市の小学生等が参加し、地域の主幹産業である農業について理解を深め、その他、中学校運動部の交流試合、両市中学生の結城紬着心地体験による交流などを実施いたしました。また、下野市、野木町を含めた3市1町で、小山地区定住自立圏を形成し、圏域が目指す方針や具体的取り組みをまとめた共生ビジョンが策定され、今後、構成市町が連携して、住民が幸せを実感し、住みたい・住み続けたいと思える、魅力ある定住自立圏の形成を目指していくことを確認した。また、保健・福祉の分野では、城西病院と新小山市民病院の病児・病後児保育施設を、両市民が利用できるようになった。また地域で保育や送迎を行う、ファミリー・サポート・センターも、相互援助活動を開始しております。



▲合同訓練の様子

土地区画整理事業について

区画整理事業が行われ、人口減少に歯止めがかかり地域内の城南小学校や結城西小学校では年々児童数も増加している。このことは区画整理事業が当初の目的を十分に果たしている結果であると考えている。そこで、今後の進め方について伺いたい

市長 国の補助金であります社会資本整備総合交付金を活用してまいりたいと考えております。また、事業の重要な収入であります保留地の処分についても、取り組みを進め、財源確保に努め、みなす課税についても、事業の進んでいる地区から順次導入し、課税の公平性確保に取り組んでまいりたい。また、現在進めております定住促進や、人口減少の抑制にも寄与する事業ですので、早期完成をめざして進めてまいりたい。

結 政 会

船 橋 清 議員（質問者）
 秋 元 昇 議員
 早 瀬 悦 弘 議員
 土 田 構 治 議員



北西部の開発について

逆井調整池周辺整備において、調整池6.6haの内2.7haを開発公社から買い戻し、残り3.9haを平成28年から29年で買収する予定です。今後の計画について内容も含めどの様にするのか。また、北西部地区土地区画整理事業に毎年度一般会計から約1億円を支出していますが、今後の整備方針を伺います

市長公室長 策定する計画案は、主要路線は2から3路線で、幅員は9m程度を基本とし、複数の案を作成いたします。その案に基づき、来年度は「逆井調整池周辺地区整備検討会議」において、整備路線の検討を行い、事業化する路線を決定したいと考えております。それらの手続きを経たうえで、最終的に道路整備構想を策定し、調整池の整備計画とあわせて、道路建設事業に取り組んでまいりたいと考えております。また、北西部地区土地区画整理事業への財政支援について、北西部3地区の土地区画整理事業につきましては、平成27年度末時点で事業費ベースの進捗率が平均で82.9%となっており、今後も継続的な支援が必要と考えております。

都市建設部長 逆井調整池整備事業について、現在交渉を進めており、買取単価としては1平方メートル当たり畑7,000円、田6,000円でございます。用地取得後は、本整備に先行し仮設整備を進め、雨水対策に努めていく考えでおります。次に、今後の計画でございますが、用地買収完了後、平成30年度に詳細な設計を予定しており、平成31年度以降、年次計画により、工事に着手してまいりたいと考えております。

市長 逆井調整池周辺地区につきましては、事業構想を策定いたします。そのうえで、調整池本体の整備とあわせて、計画的、効果的に事業を推進してまいりたいと思います。北西部3組合が施行している土地区画整理事業への財政支援に関しましては、今後も事業完了に向け、継続的に支援してまいりたいと考えております。

公共施設等総合管理計画について

新庁舎建設等を踏まえ、今後、駅前分庁舎、付属庁舎、公民館北部分館、市立公民館、生きがいふれあいセンター、才光寺会館、上山川就業改善センター、学校等の施設を含め、財政が厳しい中どの様な考え方のもと総合管理計画を策定するのか？

市長公室長 本計画は、総務省から地方自治体が策定を求められたものでございまして、人口減少による利用動向の変化や厳しい財政状況を踏まえ、建て替え更新や長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の平準化を図るために策定するものでございます。その内容は、将来人口推計や財政状況、現在保有している公共施設を耐用年数経過後に更新した場合の費用や、インフラ資産を更新した場合の費用の試算、及びそれらを加味した財政シミュレーションを掲載いたします。また、これらのデータを分析した結果を踏まえ、本市の公共施設等の管理に関する基本的な方針や施設全体における床面積の縮減目標及び、施設類型分類ごとに今後の施設管理に関する基本的な考え方を示します。加えて、運営方法の見直しや長寿命化に向けた取り組み、指定管理者制度の導入などの改善案を示してまいります。ご指摘のございました各施設につきましても、現在計画を策定しているところですが、本管理計画のほかにさらに検討を要する項目がございます。一つひとつの施設につきましては、お答えできませんが、この公共施設等総合管理計画に基づき、各施設の今後の方向性について明らかにする予定でございます。

市長 本市の公共施設の中には、ご指摘のとおり、今後の方針を早急に検討すべき施設がございます。これらの施設も含め、すべての公共施設について、総合管理計画で示す基本的な方針に基づき、長寿命化や建て替え更新、除却などの検討を行い、また、早急な対応を要する施設につきましては、迅速に対応してまいりたいと思います。

自由クラブ

稲葉里子 議員（質問者）

安藤泰正 議員

佐藤 仁 議員



代表質問

伝統産業の振興について

伝統工芸館と観光について、同館の位置づけ、今後の方針について伺いたい

産業経済部長 伝統工芸館は、結城紬の技術習得と合わせて、観光客を対象とした見学や体験ができる機能を有する施設であり、結城紬の振興と観光振興を目的としている。その機能の充実を図るためのリニューアルを行っている。観光の拠点としてとらえると、結城紬に関わる基本的な知識の情報提供や体験等を観光客の皆様楽しんでいただける施設と考えている。

伝統工芸館と北部市街地の連携について伺いたい

産業経済部長 将来的には何らかの交通手段を導入し、伝統工芸館を訪れた観光客を北部市街地へ、北部市街地から伝統工芸館に誘導したいと現在検討している。

自由クラブの提言について市長の考えを伺います

1、伝統工芸館と北部市街地の観光と連携するのにレンタサイクルの拠点強化を図ることを提言します

2、平日に運行している巡回バスを祝日週末においては観光巡回バスとして北部市街地や伝統工芸館への観光客の誘客を図る手段とする

3、伝統工芸館の運営についてですが、織物協同組合に加え、行政、市民、観光企画のプロ、広く公募等をして伝統工芸館運営委員会をつくり、リピーターが増える運営をする手だてを考える

市長 伝統工芸館については、伝統産業である結城紬の振興と結城紬を核とした観光振興に有効に活用していく。提言のあった伝統工芸館と北部市街地の連携を図るためのレンタサイクルステーションの増設や観光循環バスの運行については、観光客誘客を図る施策の中で検討していく。運営については、今後、観光の拠点としての充実を図るため、新たな運営委員会の設置の必要性について検討していく。伝統産業の振興と観光振興については、「結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策のなかで、地域資源を生かした観光の推進を掲げており、積極的に取り組んでいく。

結城市立公民館整備事業について

公民館の代替施設の利用についての現状は、また、代替施設の予約を公民館系の窓口で予約業務を一本化ができるか伺いたい

教育部長 活動施設について調査を行ったところ、公共施設に89団体、各自治会の公民館に11団体、民間施設で20団体あり、約8割が、新たな施設で活動している。しかし、約2割の団体が未定となっている。予約業務の一本化については、困難であると考えている。ネットワーク化が構築されていない現状では、多重予約の発生が懸念され、混乱を招いてしまうのではないかと考えている。活動施設が定まっていない団体には、公民館係に相談窓口を設け、サポートをしている。市の公共施設において、貸し出し条件の緩和と、新たに貸し出し可能な施設について検討をしている。

情報センター 2階の利用について提案させていただきます。公民館ができるまでの方策ですが、建てた当時のようにフロアを区切って使用方法もありと思うし開館時間の延長もぜひお願いします

教育部長 情報センターの2階は、個人の学習などで多くの方が利用している等課題があるので、利用状況を詳細に検証しながら検討していく。

公民館の使用停止から1ヶ月が経っています。社会教育の拠点となる公民館を市はどう考えているのか方向性について伺います。また、閉館した公民館をそのままにしておくのは危険ですので29年3月に策定する公共施設等総合管理計画に除却建物として位置づけ、解体してほしいと要望します

市長 公民館は、年間約56,000人が利用している本市の生涯学習の拠点であるが、本年11月1日から使用停止としたことにより、多くの皆様にご迷惑やご不便をおかけしている。本市としても、市民の皆様のご不便を早期に解消するとともに、今後、各地区に分館を整備し、全市的な生涯学習事業を展開していくためにも、結城地区に新公民館が必要ですので、早急に、できれば29年度中に完成を目指して建設する予定です。



佐藤 仁 議員

国際親善姉妹都市との交流の推進について

天皇皇后両陛下が国賓であるベルギー国王夫妻をご案内の為、行幸啓されました記念碑建立についてとベルギー国メッヘレン市と今後の国際交流事業について
市長 メッヘレン市とは近年、主だった交流は休止をしています。そのような中、去る10月12日、天皇皇后両陛下並びにベルギー国王、王妃両陛下が本市を訪問いただきました。これを機に、現状を改善できるよう、引き続き各方面に働きかけていきます。また、この度の、天皇皇后両陛下並びにベルギー国王、王妃両陛下の本市ご訪問は、大変光栄なことです。この度の行幸啓、ベルギー国、国王、



▲行幸啓記念碑

王妃両陛下のご訪問を後世に伝え、併せて本市の発展を祈念するため、記念碑の建立をしたいと考えており、来年度実施に向け、早急に調整を進めていきます。

東京オリンピックキャンプ地誘致について

かねてより提案していた東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致に向けた活動についての現状と取り組みについて

教育部長 本市ではキャンプ地誘致についてこれまで、現施設での対応や費用面など可能性を模索してきましたが、空手界で各国と交流のある方が本市出身者におられるとの事から、その方をとおして、メキシコ及びベネズエラのナショナルチームの指導者にアプローチを行った所、本市での事前キャンプについて前向きな回答をいただいたとの報告がございました。これを受けまして、両国の指導者に対し、市長名で親書を送り、本市での東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプを依頼しました。聖火リレーについては、本市内を聖火ランナーが通過するよう誘致を図るための努力を行っていきます。



▲写真提供：空手道マガジン月刊JKFan
左／本市所属：染谷真有美選手



平塚 明 議員

自治会の運営について

行政は、地域の課題を解決し、新たなまちづくりを実現していく必要があります。市民や各種団体の方が直接行政と膝を合わせて、まちづくりの思いを話し合うことで、活性化の道筋が見えてきます。自治協力員の活動を支援するために補助金の増額を要望します

市長公室長 市政懇談会は、毎年10月に各地区の自治協力員会が主催し、地域内の公共施設を会場とし、市長及び市執行部が出席して開催している。市政懇談会の内容等は、今後積極的にお知らせしたい。

筑西幹線道路等の整備効果について

市の南部を通る筑西幹線道路にアクセスする道路について、南部中央幹線も筑西幹線とのアクセスに有効

だと思うが、筑西幹線の全線開通の見通しについて伺います

都市建設部長 筑西幹線道路は、県西と県央との、人の交流を円滑にし、各市町間の連携や企業立地の推進を図るなど期待されている。開通の見通しは未定と聞いている。

市民スポーツ振興について

茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックを控えて健康のためにとスポーツに対する関心が高まる中、「スポーツ都市宣言」をしてはどうか

教育部長 スポーツ振興計画の策定が必要と考えており、計画策定を機にスポーツ都市の宣言についても検討してまいりたい。



▲ラジオ体操の講習会の一場面（私も参加しました）

他に、国保事業の運営についての質問を行いました。



安藤 泰正 議員

小学校飼育動物舎の改築について

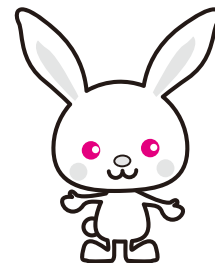
私がボランティアで小学校の飼育動物の管理を続けて15年以上になりますが、非常に古く、子供達の情操教育上、衛生管理のしやすい動物舎が必要です。ぜひ、改築をしていただきたいので伺います

教育部長 飼育舎の改築につきましては、衛生面に配慮を必要とする飼育舎や、雨風を避ける壁が少ないもの、出入口が狭いもの、天井が低いものがあり、児童の飼育活動に適した構造ではない飼育舎もございます。今後につきましては、衛生的であり、飼育に適した基準等を、専門家から指導をいただきながら、安全にかつ安心して、動物とふれあうことができる環境整備に、努めてまいりたいと考えております。

動物と触れ合う目的は、自然科学的な知識を得ると

ともに、観察力、思考力、判断力を養い、同時に世話作業を毎日続けることで、行動力、責任感、継続力、工夫・想像力、忍耐力、友達と協力する態度など、さまざまなことを身につけることにあります。アニマルセラピーと言われており、見るだけでは効果は少なく、触れたり、抱いたりして遊ぶことのできる飼育場所が必要なので、伺います

教育部長 小学校飼育動物の管理についてのうち、子供たちと動物の触れ合いにつきましては、各学校では、飼育委員会が中心となり、毎日、当番制で餌をあげたり、小屋を掃除するなど、大切に育てております。



学校飼育動物は、子供たちの情操教育、アニマルセラピーの癒しが教育に役立っていると考えますが、教育長のお考えを伺います

教育長 飼育舎の改築につきましては、衛生面及び老朽化から修理、改築等が必要であると認識しております。学校や地域との連携を図るとともに、専門家の意見を伺いながら検討を行い、順次改善していきたいと考えております。



平 陽子 議員

LED防犯灯について

自治会管理の防犯灯の蛍光灯をLEDにするには器具も取り換えなくてはなりません。器具も取り換えとなると、約10倍の経費がかかります。補助金交付の現状と課題について問い今後の取り組みについて伺います

市民生活部長 平成24年7月に閣議決定された「日本再生戦略」では、32年までに公的設備・施設のLED等高効率照明の導入率100%達成の方針も示されておりますので、この方針等も踏まえまして、自治会等における状況や要望等の内容を精査し、対応を検討してまいります。

公共交通について

高齢による操作上の誤り等での悲惨な事故が報道されています。公共交通の充実と高齢者の安全運転への啓発の取り組みについて伺います

保健福祉部長「ふれあい出前講座」は、結城警察署員が講師となり、老人クラブなどで実施しております。今後は介護予防教室や高齢者サロンなど集いの場においても、機会を設け情報発信に努めてまいります。安全で安心して利用できる巡回バスの交通機能を充実させることにより、高齢者が自家用車から巡回バスに利用転換できる環境を整えることが事故の防止にも寄与するものと考えております。

結城市立公民館について

結城市立公民館が10月末で使用停止となり、市役所で用意した12の代替施設で活動ができているのか、さらに利用者の利便性への取り組みについて伺います

教育部長 休止や解散するクラブを少しでも少なくするため、相談窓口を設置し、サポートをしてまいります。市の公共施設において、貸し出し条件の緩和とともに、各自治会の公民館や民間施設においても調査・相談を行い利用についても促進してまいります。備品の貸し出しについても、利用者のご希望に応じてまいりたいと考えております。



湯本 文夫 議員

医療福祉系大学誘致について

市長の公約に合わせて本市への、アクセスの利便性など地域性を生かし、経費・経済効果を鑑みながら行政は未来を担う人材の育成、地域の活性化、地域医療体制の充実に寄与、生涯学習の推進、市民に開かれた魅力ある大学誘致に向け積極的なプロモーションを行っていると思いますが、その取り組みについて伺います

理事兼政策監 中長期的なビジョンにつきましては、進学ニーズや病院等事業所の雇用ニーズについてのアンケート調査に引き続き誘致の可能性を検討する調査と順序立てて実施しておりますので、その結果を踏まえ、検討を行っていきたい。

市長 誘致を進めるにあたり、市民のご理解を得られるよう十分な検証を行う必要があると考えている。

大規模災害時の防災体制について

熊本地震をはじめ過去の大規模災害の教訓を共有し、他自治体から応援を受け入れる受援計画、そして災害対策の柱は自助、共助ですが、それらがきっちりと動くよう、いかに公約な部分で支えられるかが大切と思うが、また、災害発生時における小山市との連携防災体制についても合せて伺います

市民生活部長 今後の防災体制の取り組みといたしましては、地域防災の主体となる、自主防災組織の結成率の向上や防災行政無線を活用した啓発活動を行い、災害時に必要となる情報は、防災行政無線や市のホームページ、防災WEB、ハザードマップなどによる情報発信も行いながら、エリアメール等も有効に活用してまいります。被災された自治体からの教訓を参考に応援受入計画も災害時の避難計画と同様、重要なこととして、受入体制の構築を検討してまいります。

市長 小山市との連携は、友好都市であり、災害時相互応援協定や小山地区定住自立圏形成協定により両市における災害時の連携は非常に重要であると考えております。



土田 構治 議員

第4次結城市行政改革大綱について

第4次は平成25年度～平成29年度の5年間であり、行革推進期間中ではありますが経常収支比率の上昇をどの様に説明されますか？

市長公室長 経常収支比率につきましては、平成25年度が92.5%、26年度が93.6%、27年度が94.1%と年々上昇しております。その主な要因としましては、社会保障関係経費の増加に伴い、義務的経費である扶助費も増加を続けており、当該経費に充当する経常的一般財源が年々増額となったことが挙げられます。

市長 効果的・効率的な行政サービス体制の構築及び行政サービスの担い手である人材育成を柱とし、今後とも不断の行政改革に取り組んでまいりたいと考えております。

財政運営について

平成27年度において自主財源は前年度より4.6%の減少となっています。依存財源の比率が高まっていく中、財政運営の方向性をどの様に考えているのか？

市長公室長 将来に亘り健全で持続可能な財政運営を維持するため、あらゆる面での歳入の確保と歳出の削減を徹底し、厳選した施策・事業の推進を図ってまいりたいと考えております。

後期高齢者医療及び介護保険について

一般会計からの繰入金が年々増額傾向であるがこの理由は何ですか？

保健福祉部長 繰入金の増加の要因としましては、保険基盤安定繰入金が、年々増加傾向にあることが主な要因となっております。

小・中学校施設のトイレについて

当市の場合、洋式便器率は31.5%です。教育環境を整備することに対しどの様にお考えですか？

教育長 児童生徒の学びを支えることができるよう、より良い教育環境を整備したいと考えております。



大里 克友 議員

入札制度について

市内の企業が工事等を受注することで行政が投資した資金が市内を循環して地域経済の活性化と地元企業の育成につながると思われますが、入札制度の現状として27年の工事発注の実績について伺います

市長公室長 工事発注は、130件で16億598万1600円の工事を発注しました。このうち市内本店業者の受注は115件で12億2385万6000円であり、割合は件数で88.5%、金額で76.2%でした。

電子入札は、入札の透明性や公平性を確保しメリットも多いと思いますが導入について伺います

市長公室長 県の電子入札システム共同利用への入会に、高額な負担金が必要であることから、入札本数による費用対効果を勘案しながら検討してまいります。

今後、公共工事で1億円を超えるような大規模な工事発注もあると思いますが、地元企業の育成を考えた今後の取り組みについて伺います

市長公室長 ゼネコンなどの大手企業と地元企業とで共同企業体を結成させるJV方式や、大手企業単独発注となる場合で、受注条件に地元企業の積極的な活用を明記するなどの方法がございますが、それぞれの工事発注により実施されるものでございますので、今後発注の際に検討してまいります。

婚活支援について

結城市人口ビジョンでは2060年に本市の人口は3万4500人になると予想され、人口減少を可能なかぎり緩やかなものとしていくことが課題となりますが、少子化対策として今後の婚活支援について伺います

保健福祉部長 今後は、現在本市で実施している様々な補助制度の活用や県の制度の活用を視野に入れながら、どのような支援を実施すれば、市民の皆様に理解を得られ、かつ、少子化対策として効果が上るのか、他市町の事例も参考にしながら検討してまいります。また、婚活のための専門部署等の設置につきましても、積極的に検討してまいりたいと考えております。



黒川 充夫 議員

障害者差別解消法施行について

聴覚障害児・者等の支援に、コミュニケーションの手段の一つとして補聴援助システム「磁気ループ」も有効であるが、導入に対しての見解を伺いたい

保健福祉部長 磁気ループの設置にあたりましては、既に実施をしております手話通訳者および要約筆記者の派遣事業やFM電波補聴器の給付などと併せて、今後の支援のあり方について研究してまいります。

B型肝炎ワクチンの定期接種について

少なくともキャリア化のリスクが高く、集団生活を始める3歳児までは一部負担で接種できるよう任意助成事業の実施をすべきと考えるが、見解を伺いたい

保健福祉部長 母子感染の対応としましては、健康保

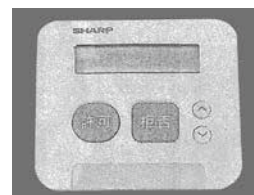
険適用の対象となっており、長期にわたる重篤な疾患等により定期接種を受けられない場合は、長期療養特例制度が適用となります。今後においては、感染症の発症及び重症化を予防するため、予防接種法に則り、定期予防接種事業を継続してまいります。任意接種助成事業の実施については、他市町村を参考に検討してまいります。

悪質電話被害防止対策について

高齢者被害防止対策の一つとして、各地で迷惑電話防止装置「トビラフォン」の無償貸与が話題となっているが、導入に対しての見解を伺いたい

産業経済部長 市消費生活センターでは、特殊詐欺に関する相談者に対し、悪質電話被害防止対策として、ナンバーディスプレイ表示の電話機設置を案内し、知らない電話には出ない、留守番電話機能を活用する方法等を紹介しており、今後は、防止策の手段として迷惑電話防止装置があることを案内し、特殊詐欺被害防止に努めてまいります。

他に、教育施策の更なる充実についての質問を行いました。





金子 健二 議員

予算編成の基本的な考え方について

市長公室長 第5次結城市総合計画に掲げる将来都市像の実現を目指し、特に重点プロジェクトに対し、予算の重点的かつ効率的な配分を行い、市民サービスの着実な推進を図る。結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた施策について、重要業績評価指標を念頭に置き、積極的に事業展開を図る。第4次結城市行政改革大綱に基づき、行財政改革を強力に推進し、歳入確保、事務事業の徹底した見直しと再構築による歳出削減に取り組む。厳しい予算編成状況におかれていることを十分に認識し、限りある財源の中で、重点的かつ効率的な配分によって最大の効果があがるよう、平成29年度予算編成に取り組んでまいります。

小山市と筑西広域市町村圏事務組合について

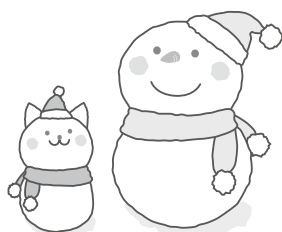
市長公室長 3つの広域連携を実施している。筑西広域市町村圏事務組合との連携では、消防、ごみ・し尿処理、火葬場等負担を軽減することを目的としている。友好都市・小山市との連携では、経済、教育、文化、医療等の幅広い分野において、市民の利便性が向上するような事業に連携して取り組んでいる。業務の内容を適正に判断しながら取り組んでまいります。

小中一貫校、いじめについて

教育長 学校教育制度の多様化及び弾力化を推進することを目的に、「学校教育法等の一部を改正する法律」が平成28年4月1日より施行されています。新たに「義務教育学校」と、独立した小・中学校が一貫した教育を実施できる「小中一貫型小学校・中学校」が創設されたところです。小中一貫校については、小・中学校の統廃合との検討を図り、よりよい教育環境整備を推進するため、有識者懇談会等の設置も視野に検討してまいります。本市のいじめの現況は、平成28年度、小中合計67件。今後も児童生徒、学校、家庭、関係機関と連携し、いじめ問題の対応に取り組んでまいります。

第4回定例会日程

11月	29日	議会運営委員会
12月	7日	本会議 開会・会期決定。議案上程。 議案質疑。議案を各所管委員会に付託。請願を所管委員会に付託。
8日	本会議	代表質問（4人）
9日	本会議	一般質問（5人）
12日	本会議	一般質問（4人）
13日	常任委員会	（総務委員会）
14日	常任委員会	（産業・建設委員会）
15日	常任委員会	（教育・福祉委員会）
16日	議会運営委員会	
20日	本会議	各常任委員長の報告・報告に対する質疑。討論・採決。議案2件追加。閉会。



市議会を傍聴してみませんか!

受付で住所、氏名などを記入するだけで簡単に傍聴できます。但し、傍聴席では、写真撮影や録音などは禁止となっています。次の定例会は、3月2日からの予定です。

詳しいことは、議会事務局まで

電話 0296-32-1111 内線 304・305

意見書第2号

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

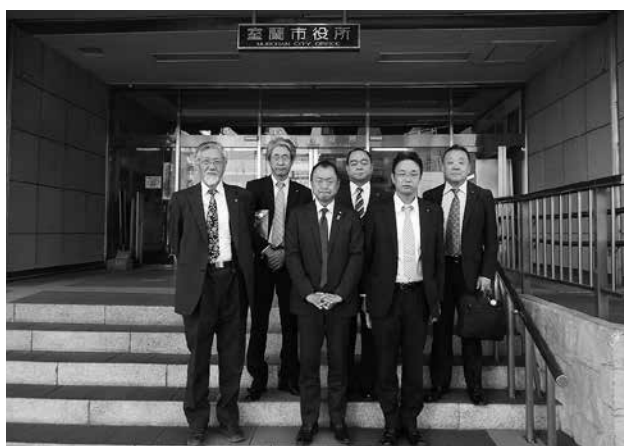
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月20日

結 城 市 議 会

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

結城市議会 行政視察報告



教 育 ・ 福 祉 委 員 会

期 日 10月18日～20日

調査地 北海道江差町
北海道室蘭市
北海道小樽市

目 的 高齢者が安心して利用できる健康づくりについて
学校規模・学校配置適正化について
総合福祉センターの運営について

委員会活動

総務委員会

総務委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、12月13日に開催されました。午前中に第9分団消防ポンプ自動車及び山川文化会館改修工事を現地調査してまいりました。第9分団消防ポンプ自動車については、10月27日に納車されましたので、シャシ・ポンプの概要、操作方法等の説明を受けました。また、山川文化会館改修工事については、昭和57年8月に竣工し、既に34年が経過して老朽化が著しいため、地方改善施設整備費補助金（補助率3／4）を受けて、屋根改修工事・床改修工事・空調設備更新工事を行うとの説明を受けました。審査は、本委員会に付託されました平成28年度結城市一般会計補正予算（第3号）のうち所管事項分1件、条例改正の議案3件、人権擁護委員候補者の推薦についての諮問3件、計7件について審査されました。なお、審査の結果、付託された議案7件についてはすべて原案のとおり可決されました。



▲第9分団消防ポンプ自動車

産業・建設委員会

産業・建設委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、12月14日に開催され、午前中に伝統工芸コミュニティセンター、大町児童公園、結城蔵美館を現地調査してまいりました。伝統工芸館は、「結城紬に関する歴史資料の展示による学習ゾーン」「結城紬の制作実演を常時行っている見学・体験ゾーン」が一体となった、見て・体験して・学べる施設として、地方創生加速化交付金を活用しリニューアル工事を行っております。全体的に暗いイメージであった館内を一新し、LED照明やスポットライトにより、効果的な照明やオブジェなど『魅せる』ことを意識した改修・配置をしているとの説明を受けました。午後の審査では、本委員会に付託されました平成28年度結城市一般会計補正予算（第3号）のうち所管事項分や特別会計、水道事業会計などの補正予算議案6件、字の区域の変更についての議案1件が審査されました。審査の結果、付託された議案7件についてはすべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。



▲大町児童公園

教育・福祉委員会

教育・福祉委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、12月15日に開催されました。審査は、本委員会に付託されました平成28年度結城市一般会計補正予算（第3号）のうち所管事項分や特別会計などの補正予算議案4件、条例改正の議案1件、指定管理者の指定についての議案1件の合計6議案、及び請願2件「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願、「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願について行われました。審査の結果、付託されました議案6件については、すべて原案のとおり可決されましたが、請願2件につきましては、なお審査を要するため、「全員一致」をもって、「閉会中の継続審査」とすることに決定いたしました。



▲委員会での審査のようす

平成28年11月29日、議員全員で構成する新庁舎建設及び現庁舎跡地利用計画に関する調査特別委員会の秋元委員長から前場市長に新庁舎建設に関する中間報告書（提言書）を提出しました。

この中間報告書は、これまで先進地視察を含め6回の調査研究で重ねた議論を、「結城市庁舎建設基本設計」や新庁舎へ反映することを強く求め、併せて具体的な方策を提言し、新庁舎建設の更なる推進を求めるものであります。



ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎号、CD版の発行や対面朗読を行っています。ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

平成29年 第1回定例会のお知らせ

結城市議会 次回定例会の開催予定

3月 2日 本会議（開会）
3日・6日 一般質問
7日・8日・9日 予算特別委員会
13日・14日・16日 常任委員会
21日 本会議（閉会）
（日程が変更になる場合もあります。）

★議会日誌

11月	12月	1月	2月	3月
29日	20日	4日	7日	23日
議会運営委員会	第4回定例会 （第4回定例会日程に掲載）	年頭あいさつ 成人式典 結城市消防出初式 合同賀詞交歓会 議会情報推進委員会 議事情報推進委員会 調査特別委員会 全員協議会 県市議会議長会議員研修会 県市議会議長会定例会	調査特別委員会 議会情報推進委員会 議事情報推進委員会 調査特別委員会 全員協議会 県市議会議長会議員研修会 県市議会議長会定例会	調査特別委員会 議会情報推進委員会 議事情報推進委員会 調査特別委員会 全員協議会 県市議会議長会議員研修会 県市議会議長会定例会

★編集後記

今年も年が明けてから1ヶ月が過ぎようとしていますが、昨年は世界的に大きな出来事がありました。6月にはイギリス国内でのEU離脱の是非を問う国民投票からEU離脱が決定づけられた。11月にはアメリカ合衆国大統領選挙においてドナルド・トランプ氏が勝利しました。ほとんどのメディアも、識者も、クリントン氏有利を予想していたこともあり、歴史的な事件であるとの論調が世界中を駆け巡りました。これらの出来事に共通して言えるのは、近年世界中を取り巻いていた、3国以上の列強の勢力圏で閉じた経済活動を行うブロック経済であった「グローバリズム」に限界を感じ、そろそろその施策が終焉に向かっているという事が言えるのではないかと感じてきました。

これからは、今の時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観などが革命的に、もしくは劇的に変化することが求められて「グローバリズム」からの転換「パラダイム・シフト」をする様な時代へと突入していくのか疑問であるが、どの様な時代にも対応できる「個」の大切さを守っていきたいと願っています。

（情報推進委員）

★表紙によせて



表紙は平成29年1月8日に行われた消防団出初式の様子です。当日は天候も心配されましたが、天気にも恵まれ、市民文化センター「アクロス」南側駐車場にて、消防団員の服装規律やポンプ車の点検、放水試験や団員及び車両によるパレードが行われました。